

Ⅲ 工業用水道事業



「水道施設工事現場見学会」

普段見ることのできない工事現場を見学（中津原浄水場導水ポンプ取替工事現場での新規ポンプを見学）しながら、老朽化した施設の更新や耐震化の重要性などについて、市民の皆様へ理解を深めていただきました。また、応急給水体験会により防災意識の高揚と水の大切さを再認識してもらった機会を設けました。

1 水源

水源量及び水利権量

水 源	種 別	水源量及び水利権量	ダ ム 名
中 津 原	表 流 水	60,000 m ³ /日	三川ダム 八田原ダム (自流)
		50,000 m ³ /日	
		70,000 m ³ /日	
		(計) 180,000 m ³ /日	
箕 島	表 流 水	170,000 m ³ /日	(河口堰)
計		350,000 m ³ /日	

2 施設

(1) 施設能力

系 統	水 源	取水能力	配水能力	備 考
中津原浄水場	中 津 原	180,000 m ³ /日	180,000 m ³ /日	1965(S40).4.1 給水開始
箕島浄水場	箕 島 (河口堰)	170,000 m ³ /日	113,000 m ³ /日	1978(S53).4.1 給水開始
計		350,000 m ³ /日	293,000 m ³ /日	

(2) 中津原浄水場系施設

施設	名 称	構 造 ・ 能 力	数 量	備 考
◆ 中津原浄水場 (面積 89,711.82m ² ※) 所在地：御幸町大字中津原158				
取 導 水 施 設	取 水 堰 堤	コンクリート造 高0.8m 長124m 排砂ゲート(6.5m)2門	1基	※
	取 水 路	コンクリート造 幅6.0m~8.0m 長120.8m 深2.1m	1路	※
	沈 砂 池	RC造 幅21.0m 長42.0m 深4.0m	1池	
	導 水 管	鋼管 口径1,200mm×107.3m, 口径1,400mm× 4.0m	1条	
	〃	鋼管 口径1,500mm× 2.1m	1条	
	〃	鋼管 口径1,200mm×142m	1条	
	〃	鋼管 口径1,800mm×287m	1条	
	導水ポンプ井	RC造 幅10.30m 長4.65m 深2.55m	1池	
	〃	RC造 幅10.30m 長4.75m 深2.70m	1池	
	導水ポンプ	口径500mm 揚程3.3m 揚水量31m ³ /分 30kW	2台	
〃	口径500mm 揚程3.8m 揚水量31m ³ /分 30kW	2台		
〃	口径500mm 揚程3.8m 揚水量28m ³ /分 30kW	2台		
〃	口径350mm 揚程3.5m 揚水量14m ³ /分 15kW	2台		

※印は、上水道と共用である。

施設	名 称	構 造 ・ 能 力	数量	備考
浄水施設	着 水 井	RC造 幅8.05m～4.20m 長18.15m 深4.60m	1池	
	〃	RC造 幅8.05m～4.20m 長17.65m 深4.80m	1池	
	計 量 器	せき式流量計	2台	
	薬品注入設備	硫酸アルミニウム, ポリ塩化アルミニウム	1式	
	急速攪拌池	RC造 幅4.7m 長7.5m 深2.5m	2池	
	フロック形成池	RC造 幅39.0m 長14.0m 深3.6m (4段)	2池	
	薬品沈澱池	RC造 幅46.35m 長39.10m 深2.50m (横流式傾斜板付き)	1池	
〃	RC造 幅44.7m 長39.1m 深2.5m (横流式傾斜板付き)	1池		
浄水池	RC造 幅44.7m 長15.0m 深3.5m	2池		
送配水施設	送水ポンプ井	RC造 幅31.5m 長3.4m 深3.5m	1池	
	送水ポンプ	口径400mm×350mm 揚程31m 揚水量14.5m ³ /分 125kW	1台	
	〃	口径500mm×400mm 揚程32m 揚水量28m ³ /分 210kW	4台	
	〃	口径500mm×400mm 揚程32m 揚水量28m ³ /分 225kW	1台	
	送水ポンプ室	RC造 平屋建 面積420m ² (10.5m×40.0m)	1棟	
	計 量 器	口径1,100mm 超音波流量計	1台	
	〃	口径1,100mm 超音波流量計	1台	
	送水管	鋼管 口径1,100mm×3,123m 口径1,100mm×3,232m	1式	
	配水池	蔵王工業用水配水池 RC造 有効容量8,400m ³	1池	
	〃	蔵王工業用水配水池 RC造 有効容量8,500m ³	1池	
計 量 器	口径900mm ベンチュリー管	1基		
〃	口径900mm 電磁流量計	1台		
排水処理施設	一次濃縮槽	RC造 内径26.0m 深4.1m 有効容量2,200m ³	1池	※
	二次濃縮槽	RC造 内径13.0m 深2.2m 有効容量300m ³	1池	※
	排水処理設備	脱水機1.5m×1.5m×87ch (脱水面積321m ²)	3台	※
	排水処理棟	RC造 2階建 延床面積398m ²	1棟	※
電気設備	受電設備	22,000V 2回線受電	1式	※
	変電設備	22,000V/3,300V 6,000kVA×2台	1式	※
	発電設備	ディーゼルエンジン発電機 750kVA 3,300V	1式	※
	発電機室	RC造 平屋建 面積209.6m ²	1棟	※
	太陽光発電	水質管理センター棟 9.36kW	1式	※
管理施設	中央管理センター	RC造 2階建(一部3階建) 延床面積2,430m ²	1棟	※
	水質管理センター	RC造 5階建 延床面積2,722m ²	1棟	※
	監視制御設備	広域監視制御装置 (主監視制御装置7台)	1式	※
◆ 工水大門第1ポンプ所 所在地：大門町三丁目36-12				
加圧施設	受水槽	RC造 有効容量225m ³	1槽	休止(2015年3月31日)
	送水ポンプ	口径200mm×150mm 揚程65m 揚水量3.8m ³ /分 70kW	3台	
◆ 工水大門第2ポンプ所 所在地：大門町三丁目36-12				
加圧施設	受水槽	RC造 有効容量229.5m ³	1槽	
	送水ポンプ	口径200mm×150mm 揚程65m 揚水量3.5m ³ /分 60kW	3台	

※印は、上水道と共用である。

(3) 箕島浄水場系施設

施設	名 称	構 造 ・ 能 力	数量	備考
◆ 箕島浄水場 (面積 32,157.97㎡) 所在地：箕島町字釣ヶ端新開10-310				
導水施設	取水口	RC造 幅5.9m 長2.1m 深9.8m	1基	
	取水路	RC造 幅1.6m 長25.0m 深1.6m	2路	
	接合井	RC造 幅3.6m 長3.6m 深10.1m	2池	
	取水管	口径1,800mm×21m	1条	
	沈砂池	RC造 幅10.0m 長30.0m 深6.6m	1池	
	取水ポンプ	口径600mm 揚程5.5m 揚水量34m ³ /分 50kW	3台	
	〃	口径400mm 揚程5.5m 揚水量18m ³ /分 30kW	1台	
	取水ポンプ棟	RC造 地上1階 地下2階建 延床面積215.8m ²	1棟	
	取水バイパス管	ポンプバイパス管 鋼管 口径900mm×8.9m, 1,100mm×22.1m	1条	
	〃	沈澱池バイパス管 鋼管 口径1,000mm×138m	1条	
計量器	〃	口径1,100mm 超音波流量計	1台	
	〃	口径1,000mm 超音波流量計	1台	
導水管	鋼管 口径1,000mm×10.7m, 1,500mm×27.6m	1条		
浄水施設	着水井	RC造 幅3.5m 長13.3m 深4.9m	1池	
	着水井バイパス管	鋼管 口径700mm×41.7m	1条	
	計量器	せき式流量計	1台	
	〃	口径700mm 超音波流量計	1台	
	薬品注入設備	次亜塩素酸ナトリウム, 硫酸アルミニウム, 濃硫酸, ポリマー, 硫酸銅	1式	
	次亜塩貯蔵室	RC造 平屋建 面積71.25m ²	1棟	
	薬品注入室	RC造 2階建 延床面積210.3m ² (次亜塩素酸ナトリウム)	1棟	
	〃	RC造 2階建 延床面積501.5m ² (硫酸アルミニウム, 消石灰, ポリマー, 硫酸銅)	1棟	
	〃	CB造 平屋建 面積6.7m ² (濃硫酸)	1棟	
	急速攪拌池	RC造 幅5.9m 長10.5m 深4.2m	1池	
フロック形成池	RC造 幅58.8m 長12.0m 深4.2m (3段)	1池		
薬品沈澱池	RC造 幅60.0m 長30.0m 深2.55m (横流式傾斜板付き)	1池		
浄水池	RC造 幅64.0m 長30.0m 深3.5m	1池		
排水処理施設	濃縮槽	RC造 内径18.0m 深4.7m 有効容量1,200m ³	2池	
	排水処理設備	脱水機1.5m×2.0m×200ch (脱水面積1,000m ²)	2台	
	排水処理棟	RC造 2階建 延床面積997.5m ²	1棟	
送配水施設	送水ポンプ井	RC造 幅26.5m 長5.0m 深2.9m	1池	休止 (2019年2月28日)
	送水ポンプ	口径500mm×350mm 揚程43.3m 揚水量27.5m ³ /分 240kW	3台	
	計量器	口径1,350mm 超音波流量計	1台	
	サージタンク	PC造 直径5.0m 高12m 容量180m ³	1基	
電気設備	受電設備	6,600V 2回線受電	1式	
	発電設備	ディーゼルエンジン発電機160PS 100kVA 440V	1式	
	太陽光発電	180kW	1式	
管理施設	管理棟	RC造 2階建 延床面積1,841m ²	1棟	
	監視制御装置	主監視制御装置2台	1式	

3 拡張事業

(1) 事業計画

＜ 臨海系 ＞

区分	事業概要
創設	1961年(昭和36年)10月、日本鋼管(株)の福山市立地が決定したが、用水型大企業のため大量の工業用水の確保が誘致の絶対条件であった。また、国においても1962年(昭和37年)全国総合開発計画が策定され、1964年(昭和39年)9月福山市を中心とする広島・岡山両県の8市13町1村が備後工業整備特別地域に指定された。これらの状況において短期間のうちに工業用水を確保しなければならず、水源は芦田川に求め、浄水場用地を1962年(昭和37年)8月御幸町中津原に決定して、取水堰堤・沈砂池・沈澱池・送水ポンプ・送配水管・配水池等を建設し、1965年(昭和40年)4月1日同社福山製鉄所へ給水を開始し、諸施設の整備を行った。
拡張	日本鋼管(株)福山製鉄所の高炉増設計画に沿って工業用水道施設の建設を必要としたため、引続き拡張事業として着工することとなった。まず、既設三川ダムの5m嵩上げ工事を広島県へ委託し、水源を確保すると同時に工業用水道施設の建設を中津原浄水場を中心に行い、1972年度(昭和47年度)で一応の完成をみたが、将来的安定取水のため1978年(昭和53年)八田原ダムに建設費負担で参加し、着工以来20数年の歳月を費やして1997年度(平成9年度)に完成した。経済の安定成長、低成長への移行に伴い、市勢の活性化を図るため均衡のとれた多角的な産業構造への変換が求められていた折り、1983年(昭和58年)5月シャープ(株)の本市進出が決定した。これに伴い、2か年で既設φ1,200mm配水管から分岐しφ350mm～φ400mm配水管の布設並びに加圧ポンプ所を建設し、1984年(昭和59年)8月から給水を開始している。
変更	昭和40年代の高度経済成長が、オイルショックを機に安定から低成長の時代に移行するとともに、資源の循環型システムの導入も拡がり、水需要は減量安定した。また、芦田川における水源開発も三川ダムの嵩上げによる日量6万m ³ 、八田原ダム建設による日量5万m ³ が限界と考えられ、自流の日量7万m ³ とあわせて計画給水量を日量18万m ³ に変更した。

＜ 河口堰系 ＞

区分	事業概要
創設	芦田川河口1.3km地点に全長450mの可動堰を建設し、洪水の疎通能力の増大を計るとともに、海水の遡上を阻止し塩害防除を計る治水効果と工業用水17万m ³ /日確保する利水効果を目的に1969年(昭和44年)建設省において芦田川河口堰建設事業が着工され、利水者には広島県が決定した。その後、1972年(昭和47年)福山市が芦田川河口堰を水源とし給水区域を箕島地区工業団地・鋼管町等とする工業用水道事業を建設することになったため、1973年(昭和48年)芦田川河口堰工業用水道事業を開始し、広島県からダム使用権設定予定者の地位の承継を行うとともに浄水場用地の買収、工業用水道施設の建設に着工した。給水は、付近に適当な高地がないため配水池を設けずに浄水場からの加圧送水とし、また蓮池工業用水道施設が老朽化していたため、1978年(昭和53年)の一部給水開始時に同工業用水道事業を廃止・統合している。建設省施行の芦田川河口堰建設事業は、一部河道掘削を残し1981年(昭和56年)に約150億円で完成しているが、福山市施行の工業用水道施設は当初計画どおりの水需要がなく、11万3千m ³ /日の給水能力で1983年度(昭和58年度)から建設事業を休止していた。その後は、1990年度(平成2年度)シャープ(株)の給水申込みにより配水設備の整備を行ったが、再度休止し現在に至っている。

- ◆ 臨海工業用水道事業及び芦田川河口堰工業用水道事業を統合し、福山市工業用水道事業とした。

＜ 福山市工業用水道 ＞

区分	事業概要
	臨海及び河口堰の両工業用水道事業は、1991年度(平成3年度)に料金の平準化を行っており、既に会計を一本化している。 河口堰工業用水道事業は、水量は安定しているが、取水位置が芦田川の河口より上流1.7kmと芦田川最下流で取水のため水質が不安定であり、また臨海工業用水道事業は、渇水時には上水道優先となり、自主節水等の取水制限がかかるため、緊急時における相互融通を可能にして、安定した供給に努めるべく両事業を統合した。

承認年月日	起工年月日	竣工年月日	工費	計画給水量	摘要
38企第997号 昭和38. 3. 28	1963. 4. 2 (昭和38)	1968. 6. 30 (昭和43)	円 1, 390, 000, 000	m ³ /日 120, 000	1期事業
44企第3428号 昭和44. 6. 14	1968. 4. 1 (昭和43)	1998. 3. 31 (平成10)	15, 330, 000, 000	120, 000	2期事業 八田原ダム建設費のうち福山市工水の負担分 10. 2%
変更届 福水経第1405号 平成2. 8. 29				180, 000	1期事業 60, 000m ³ /日 2期事業 120, 000m ³ /日

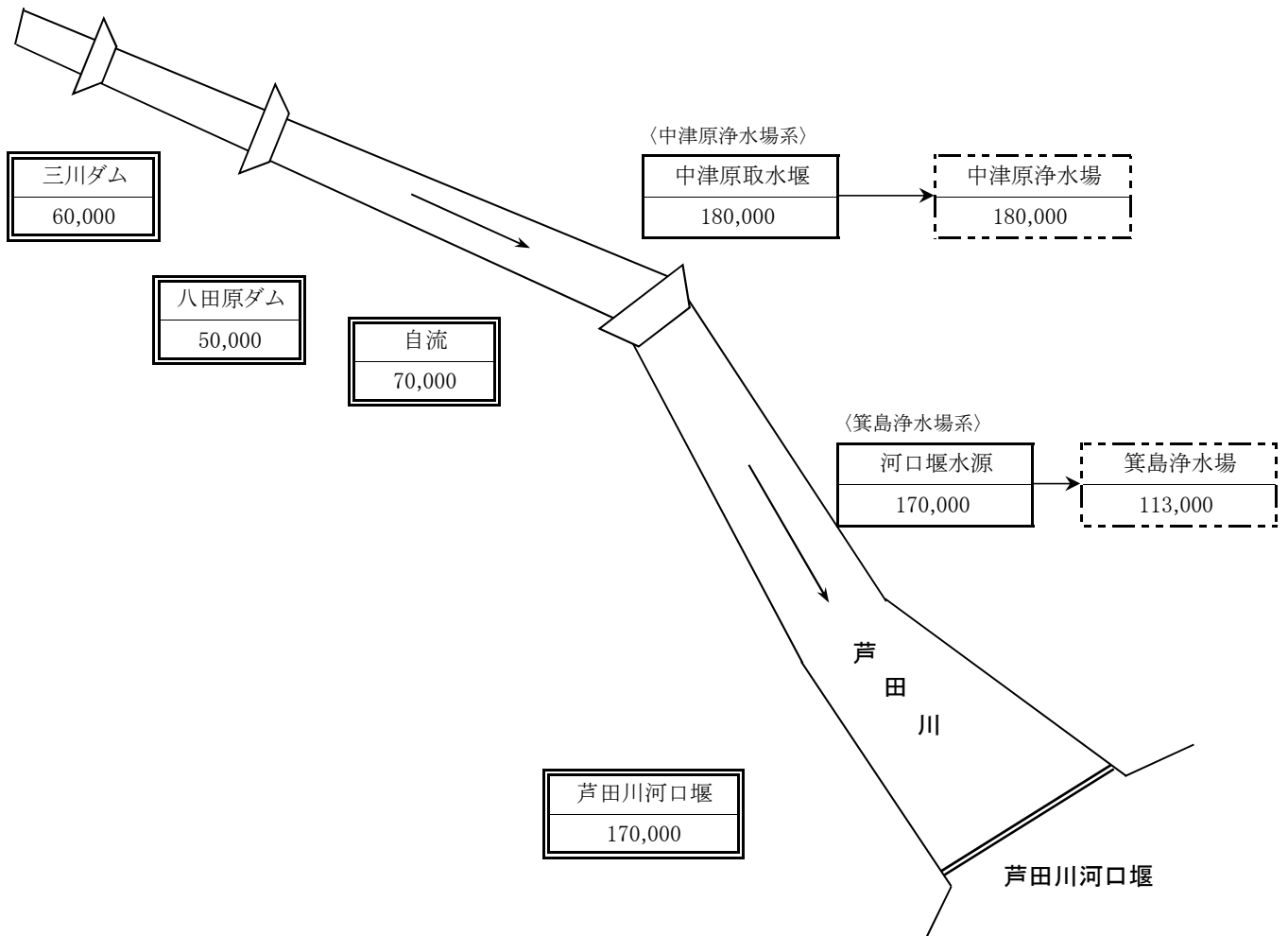
承認年月日	起工年月日	竣工年月日	工費	計画給水量	摘要
48企第4069号 昭和48. 7. 24	1973. 4. 1 (昭和48)	休止中	円 24, 300, 000, 000 (予定)	m ³ /日 158, 000	芦田川河口堰建設費のうち福山市の負担分 77. 0% 建設省負担分 23. 0%

承認年月日	起工年月日	竣工年月日	工費	計画給水量	摘要
平成18. 3. 10地第3号 平成18. 3. 31			円	m ³ /日 338, 000	臨海系 180, 000m ³ /日 河口堰系 158, 000m ³ /日

(2) 水源系統図

(単位: m³/日)

…取水能力
 …配水能力



(3) 導水管・送水管・配水管

< 中津原浄水場 >

ア 導水管

(単位：m)

口 径	総延長	管 種 ・ 口 径 別 内 訳			
		ヒューム管	鋼 管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2019年度	542	—	542	—	—
1,200mm	249	—	249	—	—
1,400mm	4	—	4	—	—
1,500mm	2	—	2	—	—
1,800mm	287	—	287	—	—

イ 送水管

(単位：m)

口 径	総延長	管 種 ・ 口 径 別 内 訳			
		铸铁管	鋼 管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2019年度	6,355	—	6,355	—	—
1,100mm	6,355	—	6,355	—	—

ウ 配水管

(単位：m)

口 径	総延長	管 種 ・ 口 径 別 内 訳			
		铸铁管	鋼 管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2019年度	16,612	—	16,612	—	—
350mm	1,271	—	1,271	—	—
400mm	2,621	—	2,621	—	—
1,200mm	12,720	—	12,720	—	—

< 箕島浄水場 >

ア 導水管

(単位：m)

口 径	総延長	管 種 ・ 口 径 別 内 訳			
		铸铁管	鋼 管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2019年度	38	—	38	—	—
1,000mm	11	—	11	—	—
1,500mm	27	—	27	—	—

イ 配水管

(単位：m)

口 径	総延長	管 種 ・ 口 径 別 内 訳			
		铸铁管	鋼 管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2019年度	32,828	12,861	18,166	432	1,369
100mm	1,231	898	—	162	171
150mm	2,947	1,431	48	270	1,198
200mm	3,540	3,495	45	—	—
250mm	1,124	1,106	18	—	—
300mm	607	132	475	—	—
350mm	3,055	1,529	1,526	—	—
400mm	4,303	1,608	2,695	—	—
450mm	—	—	—	—	—
500mm	3,485	2,662	823	—	—
600mm	6,282	—	6,282	—	—
700mm	229	—	229	—	—
900mm	2,565	—	2,565	—	—
1,100mm	608	—	608	—	—
1,350mm	2,852	—	2,852	—	—

導水管・送水管・配水管総延長計

(単位：m)

導水管	送水管	配水管	合計
580	6,355	49,440	56,375

(4) 建設改良工事の概況（1件3千万円以上の工事）

ア 施設改良事業

工事名	工事費（円）	工事場所	施行内容
中津原浄水場監視制御設備工事	262,780,455	御幸町	監視制御設備取替工 一式, 制御監視用カメラ設備取替工 一式, ケーブル敷設工 一式, 総合試運転 一式
中津原浄水場導水ポンプ設置工事 （その2）	94,683,600	御幸町	工水1系導水ポンプ取替 2台, ポンプ付帯配管工 一式
箕島浄水場取水塔電気設備取替工事	37,358,320	箕島町	取水塔低圧電気設備 制御盤等設置 一式, 電線路等敷設 一式, 既設電気設備撤去 一式

(5) 保存工事の概況（1件5百万円以上の工事）

該当事項なし

4 給水

(1) 取水量・配水量・有収水量

(単位：m³)

年度	中津原浄水場			箕島浄水場			合計		
	取水量	配水量	有収水量 (検針水量)	取水量	配水量	有収水量 (検針水量)	取水量	配水量	有収水量 (検針水量)
2015	60,730,613	60,491,096	60,292,240	20,978,149	20,862,720	20,690,770	81,708,762	81,353,816	80,983,010
2016	59,842,502	59,571,161	59,185,030	21,276,045	21,013,713	20,732,430	81,118,547	80,584,874	79,917,460
2017	59,314,673	59,005,883	58,705,936	21,750,698	21,433,377	21,176,253	81,065,371	80,439,260	79,882,189
2018	61,846,731	61,535,661	61,204,924	19,159,304	18,894,242	18,532,940	81,006,035	80,429,903	79,737,864
2019	60,493,354	60,144,225	59,808,680	25,526,868	25,276,869	24,992,955	86,020,222	85,421,094	84,801,635
4月	5,024,333	5,015,825	4,980,780	2,065,162	2,056,756	2,054,920	7,089,495	7,072,581	7,035,700
5月	5,144,940	5,123,242	5,097,670	2,079,458	2,057,070	2,017,740	7,224,398	7,180,312	7,115,410
6月	4,560,961	4,521,121	4,485,210	2,228,219	2,202,018	2,183,340	6,789,180	6,723,139	6,668,550
7月	4,813,163	4,792,365	4,777,250	2,388,588	2,363,689	2,330,320	7,201,751	7,156,054	7,107,570
8月	5,190,353	5,167,963	5,152,410	2,327,179	2,289,071	2,262,980	7,517,532	7,457,034	7,415,390
9月	5,045,319	5,010,773	4,985,970	2,568,011	2,555,702	2,527,580	7,613,330	7,566,475	7,513,550
10月	5,189,010	5,165,630	5,131,960	2,639,599	2,612,970	2,583,430	7,828,609	7,778,600	7,715,390
11月	5,032,631	5,000,952	4,968,670	2,069,115	2,030,849	2,009,380	7,101,746	7,031,801	6,978,050
12月	5,159,131	5,140,292	5,117,500	1,822,224	1,815,329	1,815,010	6,981,355	6,955,621	6,932,510
1月	5,220,935	5,191,328	5,162,870	1,920,791	1,914,797	1,878,365	7,141,726	7,106,125	7,041,235
2月	4,919,646	4,852,928	4,808,280	1,639,220	1,635,991	1,615,870	6,558,866	6,488,919	6,424,150
3月	5,192,932	5,161,806	5,140,110	1,779,302	1,742,627	1,714,020	6,972,234	6,904,433	6,854,130
月平均	5,041,113	5,012,019	4,984,057	2,127,239	2,106,406	2,082,746	7,168,352	7,118,425	7,066,803
日平均	165,282	164,328	163,412	69,746	69,062	68,287	235,028	233,391	231,698
日最大	174,637	170,780	—	101,351	101,006	—	271,551	268,423	—
	9月25日	4月10日	—	9月9日	9月9日	—	10月7日	9月9日	—

(2) 電力・薬品

年度	中津原浄水場				箕島浄水場				
	電力量 (kWh)	料金 (円)	硫酸 アルミニウム (ℓ)	ポリ塩化 アルミニウム (kg)	電力量 (kWh)	料金 (円)	硫酸 アルミニウム (ℓ)	次亜塩素酸 ナトリウム (kg)	濃硫酸 (ℓ)
2015	7,101,355	91,666,508	220,897	84,722	1,741,903	30,492,876	471,495	123,055	67,311
2016	7,803,446	91,977,749	368,016	87,685	1,872,813	30,732,701	448,576	103,159	64,434
2017	7,921,653	107,119,677	273,118	105,911	2,014,875	35,448,109	543,349	118,612	86,237
2018	8,102,172	121,190,915	314,694	56,369	1,736,130	34,346,149	457,123	83,557	93,866
2019	7,996,672	118,242,506	399,789	53,392	2,267,495	41,570,295	566,259	193,469	193,388
4月	653,917	10,363,706	21,460	-	143,119	2,954,991	34,941	9,941	19,274
5月	645,837	9,783,684	14,879	236	183,136	3,427,510	42,724	16,885	15,567
6月	676,708	10,009,027	17,988	-	182,628	3,366,324	54,096	23,582	14,172
7月	612,293	9,066,874	19,784	24,626	199,312	3,567,782	59,354	27,921	10,759
8月	638,979	9,821,754	16,999	6,283	218,784	4,009,063	69,155	30,624	16,998
9月	693,249	10,599,533	37,152	7,501	217,076	3,984,477	49,543	30,325	16,654
10月	667,927	10,104,391	82,914	7,273	231,817	4,144,870	59,527	19,213	20,050
11月	699,562	10,138,177	49,672	83	234,417	4,034,642	41,005	12,079	19,169
12月	669,092	9,639,299	40,231	34	183,080	3,309,975	37,415	6,691	20,625
1月	691,236	9,779,494	46,385	7,356	161,603	2,984,016	44,310	4,422	18,254
2月	702,117	9,853,122	19,527	-	168,168	3,057,105	38,399	5,919	10,974
3月	645,755	9,083,445	32,798	-	144,355	2,729,540	35,790	5,867	10,892
月平均	666,389	9,853,542	33,316	4,449	188,958	3,464,191	47,188	16,122	16,116
日平均	21,849	323,067	1,092	146	6,195	113,580	1,547	529	528

※ 料金は税込である。

※ 電力量及び料金は、加圧ポンプ所分を含まない。

※ 2015年度の電力料金は、11月以降について請求があった月の費用として計上しているため、11か月のデータである。(使用日数は335日。)

その他の電力量	大門第1ポンプ所	- kWh (休止中)
	大門第2ポンプ所	336,591 kWh
	蔵王配水池(電灯量)	1,163 kWh
	箕島浄水場太陽光発電	198,016 kWh (8,604,895円)
	売電力量	
	使用電力量	2,161 kWh
その他の薬品	硫酸銅	6,480 kg (箕島浄水場, 年間使用量)

(3) 水質検査

検査項目	中津原浄水場			箕島浄水場			供給規程
	原水	浄水	配水	原水	浄水	給水	
水温 (°C)	17.6	17.9	18.6	18.4	18.4	18.5	常温
鉄 (mg/L)	0.11	0.10	0.19	0.28	0.05	0.09	-
マンガン (mg/L)	0.039	0.034	0.058	0.057	0.065	0.037	-
塩素イオン (mg/L)	7.6	7.7	7.7	11.2	12.5	12.2	200mg/以下
有機物 (TOC) (mg/L)	1.8	1.8	1.8	3.1	2.5	1.8	-
pH 値	7.7	7.8	7.7	9.1	7.2	7.0	5.8~8.6
濁度 (度)	1.4	1.6	2.6	9.9	1.6	1.0	10以下
総酸度 (mg/L)	1.6	1.5	0.9	<0.1	6.4	7.4	-
総アルカリ度 (mg/L)	36.3	36.2	34.9	47.3	28.4	26.6	-
電気伝導率 (mS/m)	14.1	14.2	14.2	17.6	19.4	19.1	-
蒸発残留物 (mg/L)	94	97	104	125	125	121	-
カルシウム、マグネシウム等〔硬度〕 (mg/L)	36.8	37.0	36.7	49.0	50.4	50.2	-
銅 (mg/L)	-	-	-	<0.01	0.04	0.03	-
硫酸イオン (mg/L)	14.5	15.0	16.9	17.9	41.2	42.5	-

※ 数値は、年間平均値である。

5 業務

(1) 工業用水道料金調定収納

(単位：件, 円, 税込)

年度	調定		収納		未収		収納率	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
2015	324	3,031,250,151	297	2,787,097,204	27	244,152,947	91.67%	91.95%
2016	329	3,001,451,864	301	2,757,022,135	28	244,429,729	91.49%	91.86%
2017	325	3,005,437,732	298	2,762,862,947	27	242,574,785	91.69%	91.93%
2018	326	2,990,913,709	298	2,749,131,142	28	241,782,567	91.41%	91.92%
2019	336	3,181,586,314	308	2,926,360,845	28	255,225,469	91.67%	91.98%

※ 調定及び収納は、当該年度のものである。

※ 各年度の未収については、3月調定の納期未到来分（納期：4月15日）である。

※ 未収は、不納欠損前の数値である。

(2) 料金表（1か月、税抜）

2020年（令和2年）6月30日まで		2020年（令和2年）7月1日から	
基本料率	基本使用水量1m ³ につき 31円70銭	基本料率	基本水量1m ³ につき 27円50銭
		使用料率	基本使用水量1m ³ につき 1円50銭
超過料率	超過使用水量1m ³ につき 48円	超過料率	超過使用水量1m ³ につき 43円50銭

6 財務

(1) 決算報告書

ア 収益的収入及び支出

収入

区 分	予 算		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第1款 工業用水道事業収益	3,255,798,000	0	0
第1項 営業収益	3,004,914,000	0	0
第2項 営業外収益	250,883,000	0	0
第3項 特別利益	1,000	0	0

支出

区 分	予 算				
	当初予算額	補正予算額	予備費 支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額
	円	円	円	円	円
第1款 工業用水道事業費用	2,531,188,000	△ 14,124,000	0	0	0
第1項 営業費用	2,343,094,000	△ 14,124,000	0	0	0
第2項 営業外費用	178,093,000	0	0	0	0
第3項 特別損失	1,000	0	0	0	0
第4項 予備費	10,000,000	0	0	0	0

イ 資本的収入及び支出

収入

区 分	予 算			地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	
	円	円	円	円
第1款 工業用水道事業資本的収入	1,000	0	1,000	13,500,000
第1項 国庫補助金	0	0	0	13,500,000
第2項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0

支出

区 分	予 算					地方公営企業法第26条の規定による繰越額
	当初予算額	補正予算額	予備費 支出額	流用 増減額	小 計	
	円	円	円	円	円	円
第1款 工業用水道事業資本的支出	1,047,479,000	△ 4,376,000	0	0	1,043,103,000	115,800,000
第1項 建設改良費	727,921,000	△ 4,376,000	0	0	723,545,000	115,800,000
第2項 企業債償還金	317,558,000	0	0	0	317,558,000	0
第3項 予備費	2,000,000	0	0	0	2,000,000	0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1,041,262,964円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整資金 474,084,289円で補てんした。

額		決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備考
合計				
円	円	円	円	
3,255,798,000	3,439,652,777	183,854,777		
3,004,914,000	3,192,834,914	187,920,914		(うち、仮受消費税及び地方消費税 258,252,404円)
250,883,000	246,817,863	△ 4,065,137		(うち、仮受消費税及び地方消費税 2,429,327円)
1,000	0	△ 1,000		

額			決算額	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	不用額	備考
小計	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	合計				
円	円	円	円	円	円	
2,517,064,000	0	2,517,064,000	2,299,814,617	0	217,249,383	
2,328,970,000	0	2,328,970,000	2,122,285,537	0	206,684,463	(うち、仮払消費税 及び地方消費税 62,641,693円)
178,093,000	0	178,093,000	177,529,080	0	563,920	(うち、納付税額 141,467,100円)
1,000	0	1,000	0	0	1,000	
10,000,000	0	10,000,000	0	0	10,000,000	

額		決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備考
継続費通次繰越額に 係る財源充当額	合計			
円	円	円	円	
0	13,501,000	11,046,375	△ 2,454,625	
0	13,500,000	11,046,375	△ 2,453,625	
0	1,000	0	△ 1,000	

額		決算額	翌年度繰越額		不用額	備考
継続費 通次繰 越額	合計		地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費 通次繰 越額		
円	円	円	円	円	円	
0	1,158,903,000	1,052,309,339	11,500,000	0	11,500,000	95,093,661
0	839,345,000	734,752,016	11,500,000	0	11,500,000	93,092,984
0	317,558,000	317,557,323	0	0	0	677
0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000

額 56,576,234円、減債積立金取崩し額 317,557,323円、建設改良積立金取崩し額 193,045,118円及び過年度分損益勘定留保

(2) 比較損益計算書

区 分	2017年度		2018年度		2019年度		対 前 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
事 業 収 益	円 3,051,351,296	% 100.0	円 3,030,753,458	% 100.0	円 3,178,971,373	% 100.0	円 148,217,915	% 104.9
営 業 収 益	2,791,845,794	91.5	2,777,011,629	91.7	2,934,582,510	92.3	157,570,881	105.7
給 水 収 益	2,782,812,794	91.2	2,769,364,629	91.4	2,924,356,510	92.0	154,991,881	105.6
そ の 他 営 業 収 益	9,033,000	0.3	7,647,000	0.3	10,226,000	0.3	2,579,000	133.7
営 業 外 収 益	259,505,502	8.5	253,741,829	8.3	244,388,863	7.7	△ 9,352,966	96.3
受 取 利 息	7,599,322	0.2	6,721,915	0.2	5,473,140	0.2	△ 1,248,775	81.4
他 会 計 負 担 金	3,707,000	0.1	3,800,000	0.1	4,018,000	0.1	218,000	105.7
長 期 前 受 金 戻 入	209,903,738	6.9	207,492,394	6.8	205,398,192	6.5	△ 2,094,202	99.0
雑 収 益	38,295,442	1.3	35,727,520	1.2	29,499,531	0.9	△ 6,227,989	82.6
事 業 費 用	2,193,329,904	100.0	2,245,636,533	100.0	2,095,709,447	100.0	△ 149,927,086	93.3
営 業 費 用	2,135,707,123	97.4	2,197,130,006	97.8	2,059,643,844	98.3	△ 137,486,162	93.7
原 水 及 び 浄 水 費	985,747,515	44.9	1,008,941,501	44.9	838,417,913	40.0	△ 170,523,588	83.1
配 水 及 び 給 水 費	26,801,774	1.2	34,163,384	1.5	33,749,617	1.6	△ 413,767	98.8
業 務 及 び 総 係 費	181,833,084	8.3	178,883,475	8.0	185,830,842	8.9	6,947,367	103.9
減 価 償 却 費	933,329,762	42.6	967,895,970	43.1	971,158,307	46.3	3,262,337	100.3
資 産 減 耗 費	7,994,988	0.4	7,245,676	0.3	30,487,165	1.5	23,241,489	420.8
営 業 外 費 用	57,622,781	2.6	48,506,527	2.2	36,065,603	1.7	△ 12,440,924	74.4
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	57,619,663	2.6	46,360,183	2.1	35,874,373	1.7	△ 10,485,810	77.4
雑 支 出	3,118	0.0	2,146,344	0.1	191,230	0.0	△ 1,955,114	8.9
当 年 度 純 利 益	858,021,392	-	785,116,925	-	1,083,261,926	-	298,145,001	-

(3) 比較貸借対照表

区 分	2017年度		2018年度		2019年度		対 前 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
固 定 資 産	19,429,459,883	77.0	19,458,034,001	76.0	19,134,564,311	73.1	△ 323,469,690	98.3
有 形 固 定 資 産	8,693,335,369	34.5	9,255,044,493	36.1	9,337,763,445	35.7	82,718,952	100.9
土 地	806,169,707	3.2	806,169,707	3.1	806,169,707	3.1	-	100.0
建 物	777,211,753	3.1	739,758,640	2.9	703,025,067	2.7	△ 36,733,573	95.0
構 築 物	3,764,709,070	14.9	4,911,308,550	19.2	4,747,845,117	18.1	△ 163,463,433	96.7
機 械 及 び 装 置	2,535,754,846	10.1	2,660,180,415	10.4	2,901,828,571	11.1	241,648,156	109.1
車 両 運 搬 具	884,813	0.0	742,432	0.0	2,321,849	0.0	1,579,417	312.7
工 具 器 具 及 び 備 品	96,081,634	0.4	89,605,301	0.3	85,434,064	0.3	△ 4,171,237	95.3
建 設 仮 勘 定	712,523,546	2.8	47,279,448	0.2	91,139,070	0.4	43,859,622	192.8
無 形 固 定 資 産	10,734,424,514	42.5	10,201,289,508	39.9	9,795,100,866	37.4	△ 406,188,642	96.0
投 資 そ の 他 の 資 産	1,700,000	0.0	1,700,000	0.0	1,700,000	0.0	-	100.0
流 動 資 産	5,792,761,032	23.0	6,124,785,729	24.0	7,033,236,506	26.9	908,450,777	114.8
現 金 及 び 預 金	5,511,306,748	21.9	5,721,525,079	22.4	6,763,895,614	25.9	1,042,370,535	118.2
未 収 金	280,675,750	1.1	401,593,917	1.6	266,898,112	1.0	△ 134,695,805	66.5
前 払 費 用	689,534	0.0	1,577,733	0.0	2,442,780	0.0	865,047	154.8
そ の 他 流 動 資 産	89,000	0.0	89,000	0.0	-	-	△ 89,000	皆減
資 産 合 計	25,222,220,915	100.0	25,582,819,730	100.0	26,167,800,817	100.0	584,981,087	102.3
固 定 負 債	1,716,541,585	6.8	1,396,177,587	5.4	1,104,710,432	4.2	△ 291,467,155	79.1
企 業 債	1,498,348,083	5.9	1,180,790,760	4.6	884,359,341	3.4	△ 296,431,419	74.9
引 当 金	218,193,502	0.9	215,386,827	0.8	220,351,091	0.8	4,964,264	102.3
流 動 負 債	638,417,080	2.5	594,226,611	2.3	581,764,744	2.2	△ 12,461,867	97.9
企 業 債	345,062,427	1.4	317,557,323	1.2	296,431,419	1.1	△ 21,125,904	93.3
未 払 金	276,815,852	1.1	260,159,046	1.0	268,864,437	1.0	8,705,391	103.3
引 当 金	15,677,447	0.0	15,735,666	0.1	16,468,888	0.1	733,222	104.7
そ の 他 流 動 負 債	861,354	0.0	774,576	0.0	-	-	△ 774,576	皆減
繰 延 収 益	4,225,609,078	16.8	4,165,645,435	16.3	3,971,293,618	15.2	△ 194,351,817	95.3
長 期 前 受 金	4,225,609,078	16.8	4,165,645,435	16.3	3,971,293,618	15.2	△ 194,351,817	95.3
負 債 合 計	6,580,567,743	26.1	6,156,049,633	24.0	5,657,768,794	21.6	△ 498,280,839	91.9
資 本 金	16,115,186,142	63.9	17,322,704,877	67.8	18,187,254,317	69.5	864,549,440	105.0
資 本 金	16,115,186,142	63.9	17,322,704,877	67.8	18,187,254,317	69.5	864,549,440	105.0
剰 余 金	2,526,467,030	10.0	2,104,065,220	8.2	2,322,777,706	8.9	218,712,486	110.4
資 本 剰 余 金	261,353,737	1.0	261,353,737	1.0	261,353,737	1.0	-	100.0
利 益 剰 余 金	2,265,113,293	9.0	1,842,711,483	7.2	2,061,423,969	7.9	218,712,486	111.9
資 本 合 計	18,641,653,172	73.9	19,426,770,097	76.0	20,510,032,023	78.4	1,083,261,926	105.6
負 債 資 本 合 計	25,222,220,915	100.0	25,582,819,730	100.0	26,167,800,817	100.0	584,981,087	102.3
有形固定資産減価償却累計	13,830,356,407	-	14,143,775,939	-	14,006,574,377	-	△ 137,201,562	-

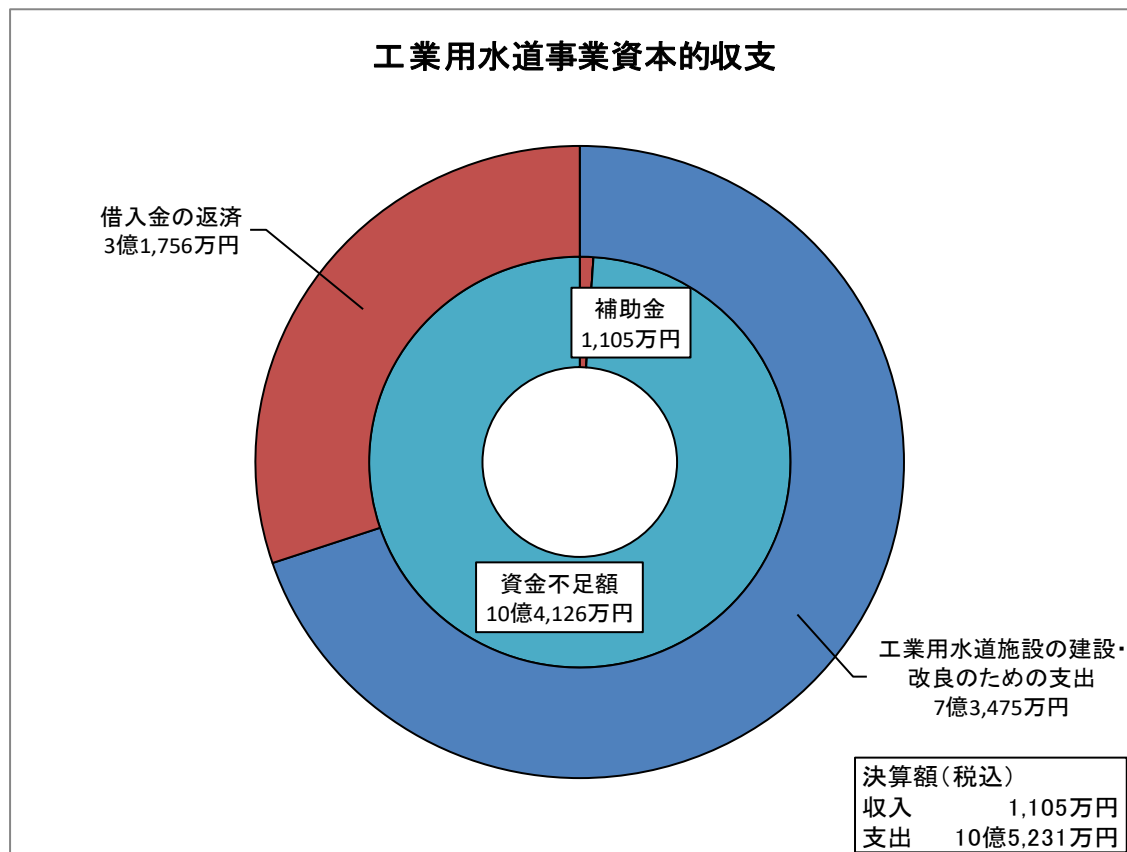
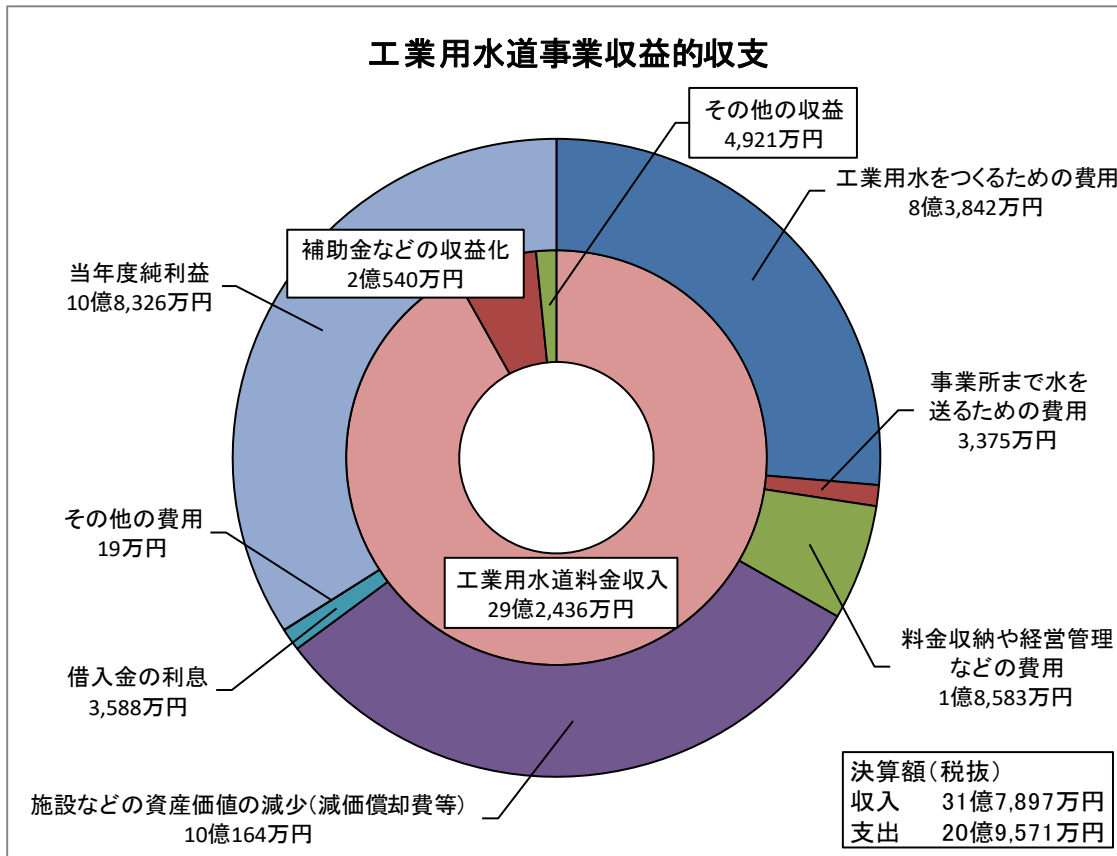
(4) 比較費用構成表

区 分	2017年度		2018年度		2019年度		対前年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
職員給与費	千円 259,534	% 11.8	千円 243,592	% 10.8	千円 247,594	% 11.8	千円 4,002	% 101.6
給 料	123,991	5.7	118,823	5.3	119,983	5.7	1,160	101.0
手 当 等	62,469	2.8	60,866	2.7	60,995	2.9	129	100.2
賞与引当金 繰 入 額	10,620	0.5	10,466	0.4	11,131	0.5	665	106.4
法定福利費	39,847	1.8	38,097	1.7	38,518	1.9	421	101.1
法定福利費 引当金繰入額	1,936	0.1	1,964	0.1	2,107	0.1	143	107.3
退職給付費	20,671	0.9	13,376	0.6	14,860	0.7	1,484	111.1
動 力 費	137,239	6.3	150,525	6.7	152,698	7.3	2,173	101.4
委 託 料	86,926	4.0	152,147	6.8	163,315	7.8	11,168	107.3
修 繕 費	79,570	3.6	19,544	0.9	11,742	0.6	△ 7,802	60.1
薬 品 費	22,180	1.0	23,639	1.0	36,438	1.7	12,799	154.1
材 料 費	-	-	-	-	2,146	0.1	2,146	皆増
負 担 金	575,253	26.2	604,673	26.9	421,423	20.1	△ 183,250	69.7
減価償却費	933,330	42.6	967,896	43.1	971,158	46.3	3,262	100.3
支 払 利 息	57,620	2.6	46,360	2.1	35,874	1.7	△ 10,486	77.4
その他経常費用	41,678	1.9	37,260	1.7	53,321	2.6	16,061	143.1
合 計	2,193,330	100.0	2,245,636	100.0	2,095,709	100.0	△ 149,927	93.3

(5) 給水原価

区 分	2017年度		2018年度		2019年度		対前年度	
	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り
職員給与費	千円 259,534	円/m ³ 3.00	千円 243,592	円/m ³ 2.83	千円 247,594	円/m ³ 2.78	千円 4,002	円/m ³ △ 0.05
動 力 費	137,239	1.59	150,525	1.75	152,698	1.71	2,173	△ 0.04
委 託 料	86,926	1.01	152,147	1.77	163,315	1.83	11,168	0.06
修 繕 費	79,570	0.92	19,544	0.23	11,742	0.13	△ 7,802	△ 0.10
薬 品 費	22,180	0.26	23,639	0.28	36,438	0.41	12,799	0.13
材 料 費	-	-	-	-	2,146	0.02	2,146	皆増
負 担 金	575,253	6.66	604,673	7.04	421,423	4.73	△ 183,250	△ 2.31
減価償却費	863,034	9.99	897,600	10.44	900,862	10.10	3,262	△ 0.34
支 払 利 息	57,620	0.67	46,360	0.54	35,874	0.40	△ 10,486	△ 0.14
そ の 他	41,678	0.48	37,260	0.43	53,321	0.60	16,061	0.17
合 計	2,123,034	24.58	2,175,340	25.31	2,025,413	22.71	△ 149,927	△ 2.60
年間総有収水量 (料金算定分)	86,383,815 m ³		85,938,115 m ³		89,177,750 m³		3,239,635 m ³	-

(6) 決算収支図



(7) 経営指標

項 目		単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
施 設	負 荷 率	%	87.5	90.2	85.1	82.6	86.9
	施 設 利 用 率	%	75.8627986	75.4	75.2	75.2	79.7
	最 大 稼 働 率	%	86.7	83.6	88.4	91.1	91.6
	有 収 率	%	99.54	99.17	99.31	99.14	99.27
	配 水 管 使 用 効 率	m ³ /m	1,454.9	1,433.2	1,430.7	1,426.7	1,515.2
	固 定 資 産 使 用 効 率	m ³ /万円	111.1	106.0	92.5	86.9	91.5
	契 約 率	%	78.2	78.4	77.9	77.6	77.6
生 産 性	職 員 1 人 当 たり 給 水 事 業 所	所/人	0.90	0.93	0.87	0.97	0.97
	職 員 1 人 当 たり 有 収 水 量	m ³	2,699,434	2,663,915	2,576,845	2,749,582	2,924,194
健 全 性	固 定 資 産 構 成 比 率	%	78.4	76.1	77.0	76.1	73.1
	自 己 資 本 構 成 比 率	%	87.8	89.0	90.7	92.2	93.6
	固 定 負 債 構 成 比 率	%	10.0	8.3	6.8	5.5	4.2
	経 常 収 支 比 率	%	141.0	137.6	139.1	135.0	151.7
	累 積 欠 損 金 比 率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流 動 比 率	%	987.1	903.8	907.4	1,030.7	1,208.9
	固 定 資 産 回 転 率	回	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
	企 業 債 残 高 対 給 水 収 益 比 率	%	92.1	79.2	66.2	54.1	40.4
料 金	供 給 単 価	円/m ³	32.25	32.19	32.21	32.23	32.79
	給 水 原 価	円/m ³	24.06	24.83	24.58	25.31	22.71
	料 金 回 収 率	%	134.0	129.6	131.0	127.3	144.4

※ 金額は税抜である。

算 出 基 礎		説 明
$\frac{233,391}{268,423}$	$\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{日平均配水量}}{\text{日最大配水量}}$ 1日最大配水量に対する1日平均配水量の割合を示すもので、工業用水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{233,391}{293,000}$	$\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{日平均配水量}}{\text{配水能力※1}}$ 施設の配水能力に対する1日平均配水量の割合を示すもので、施設の利用状況や適正規模を判断する指標。
$\frac{268,423}{293,000}$	$\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{日最大配水量}}{\text{配水能力※1}}$ 施設の配水能力に対する1日最大配水量の割合を示すもので、工業用水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{84,801,635}{85,421,094}$	$\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{総有収水量(計量分)}}{\text{総配水量}}$ 年間総配水量に対する年間総有収水量の割合を示すもので、工業用水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す指標。
$\frac{85,421,094}{56,375}$	$\frac{m^3}{m}$	$\frac{\text{総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$ 導送配水管に対する年間総配水量の割合を示すもので、配水管の使用効率を表す指標。
$\frac{85,421,094}{9,337,763}$	$\frac{m^3}{\text{千円}}$	$\frac{\text{総配水量}}{\text{有形固定資産}}$ 有形固定資産に対する年間総配水量の割合を示すもので、工業用水道施設の使用効率を表す指標。
$\frac{227,325}{293,000}$	$\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{契約水量}}{\text{配水能力※1}}$ 施設能力に対する契約水量の割合を示すもので、工業用水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{28}{29}$	$\frac{\text{所}}{\text{人}}$	$\frac{\text{現在給水事業所}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ 損益勘定職員1人当たりの現在給水事業所を示すもので、工業用水道サービスの生産性を表す指標。
$\frac{84,801,635}{29}$	$\frac{m^3}{\text{人}}$	$\frac{\text{有収水量(計量分)}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ 損益勘定職員1人当たりの有収水量を示すもので、工業用水道サービスの生産性を表す指標。
$\frac{19,134,564}{26,167,801}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産+流動資産+繰延資産}}$ 総資産(固定資産・流動資産・繰延資産)に占める固定資産の割合を示すもので、経営の柔軟性を表す指標。
$\frac{24,481,326}{26,167,801}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}}{\text{負債資本合計}}$ 総資本(負債及び資本)に対する自己資本の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{1,104,710}{26,167,801}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}}$ 総資本(負債・資本)に占める固定負債の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{3,178,971}{2,095,709}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$ 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、事業の収益性を表す指標。
$\frac{0}{2,934,582}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益-受託工事収益}}$ 営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと)の状況を表す指標。
$\frac{7,033,237}{581,765}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ 流動負債に対する流動資産の割合を示すもので、短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
$\frac{2,934,582}{19,227,090}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{期末期首(固定資産-建設仮勘定)÷2}}$ 固定資産に対する営業収益の割合を示すもので、固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを表す指標。
$\frac{1,180,791}{2,924,356}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}}$ 給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高の規模を表す指標。
$\frac{2,924,356}{89,177,750}$	$\frac{\text{千円}}{m^3}$	$\frac{\text{給水収益}}{\text{総有収水量(年間契約水量+超過水量)}}$ 有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ給水収益を得ているかを表す指標。
$\frac{2,025,413}{89,177,750}$	$\frac{\text{千円}}{m^3}$	$\frac{\text{経常費用-(受託工事費+材料売却原価+長期前受金戻入※2)}}{\text{総有収水量(年間契約水量+超過水量)}}$ 有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表す指標。
$\frac{32.79}{22.71}$	$\frac{\text{円}}{\text{円}}$	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}}$ 給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表すもので、料金水準等が適正かを評価する指標。

※1 配水能力は、実稼働能力とする。

※2 みなし償却をしていた国庫補助金相当額